

平成二十九年 度 日高看護専門学校 入学試験問題

〔一般〕

〔国語総合〕

(時間：六十分)

《注意事項》

- 1 試験監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください。
- 2 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があります。監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。
- ① 氏名欄に、氏名・フリガナを記入してください。
- ② 番号欄に、右詰めで受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしてください。
正しくマークされていない場合には、採点できないことがあります。
- 3 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしてください。
国語総合の問題は全部で三八問あります。解答用紙の問一から問三八までの解答欄を使用してください。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験終了後に問題冊子を回収しますので持ち帰らないでください。
- 6 問題冊子の所定の欄に受験番号を記入してください。

受 験 番 号

□ 1 次の問いに答えなさい。解答番号は□ 1 ~ □ 5。

問一 次の作品の中で、作品の書かれた時代が違つるものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は□ 1。

- ① 雪国 ② 羅生門 ③ 風立ちぬ ④ 路傍の石

問二 次の書き出しで始まる作品の題名を選び、番号で答えなさい。解答番号は□ 2。

さい
先つ頃、雲林院の菩提講に詣でてはべりしかば、例人よりはこよなう年老い、うたてげなる翁二人、
おきな
といきあひて、同じ所に居ぬまり。
おうな

- ① 大鏡 ② 今鏡 ③ 水鏡 ④ 増鏡

問三 次のうち、敬語の使い方が誤っているものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は□ 3。

- ① 今回の会合には、委員会の委員長がお越しになります。
② 先日、お送りくださった報告書を拝見しました。
③ 展示会場では来賓の皆様が、受賞作品をご覧になった。
④ お客様のご要望は、必ず弊社の担当者にお伝えしておきます。

問四 「大器晩成」と同じ漢字の構成で成り立っている四字熟語を一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は□ 4。

- ① 巧言令色 ② 外柔内剛 ③ 責任転嫁 ④ 意志薄弱

問五 次の傍線部の語句と同じ品詞が用いられているものを、あとから一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は

□ 5。

予想したほどは難しくなかつた。

- ① 完成品でなくともよい。
② 早く終わらせなければ、時間切れた。
③ 都会には、このような風景はなかるう。
④ 途中から参加してもつまらない。

□ 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。解答番号は6〜22

若い頃、私は発生学の分野を研究していた。受精卵が発生して、成体を作る。発生学とはその過程を調べるものだが、この過程も答が先に存在している典型である。人間が調べようが調べまいが、受精卵があれば、発生過程を経て、ふつうは成体ができる。すでに目前に解が存在しているのである。なんでそういう解になるのだ。その疑問が発生学を生む。でもその解はじつにさまざまで、卵から発生する生物の全種類が、それぞれの解になっている。どんな親ができたって、いいじゃないか。ほとんどそう思いたくなる。でもカエルの子はカエルなのである。

以前考えたことだが、受精卵と遺伝子をキ^aテイ条件として与えたとして、成体をシミュレートできるだろうか。おそらく木の葉の例よりも、はるかに複雑かつ面倒な計算になると思う。でもこの計算をする必要は、木の葉の例と同じで、じつはない。実際にその卵を発生させてみればいいからである。それが生物が現にやっていることである。つまり「計算機を作って、つぎに受精卵と遺伝子の組み合わせを考え、計算でシミュレートする」代わりに、実際にやってみるのである。この計算機を「脳」と書き換えたら、私¹のいいたいことがおわかりいただけるであろうか。

有性^b セイシヨクと発生過程は、ある意味で対になっている。卵子と精子の遺伝子を組み合わせると、おそらくそれまでにはなかった組み合わせが生じてしまう。A、たとえば人のゲノムでいえば、二万を超える数の遺伝子を組み合わせることになるからである。個々の遺伝子について見れば、血液型の場合だったら、A B Oなどいくつ種類がある。むろんそうした型のない遺伝子もあるだろうし、もつと型が多い遺伝子もあるはずである。それらのジ^c ユンレツ組み合わせは、ボウダイ^dとしか、いいようがない。それなら、それぞれの個体は、遺伝子の組み合わせとしては、ほとんどは新しいものというしかない。その組み合わせが、発生というむやみに複雑な過程をブジに済ませられるかどうか。生物はそれを「実際に発生させる」という形で解いているのである。

さまざまな生物の発生を具体的に観察すれば、じつは際限がない。生物種ははなはだしく多いからである。でもそのそれぞれを観察するという作業を発生学者はしてきた。それでは際限がないからと、その過程を実験的に扱おうとしたのが、シュペーマン（ドイツの動物学者）らの実験発生学、あるいは発生機構学である。そこでは、胚のどこをどの時期にどういじれば、どういう成体ができるかという、「ああすれば、こうなる」がドウニユウされる。私自身はそれが苦手だった。むしろ実際の発生がどうなっているのか、それをひたすら「見て」、ガクイ論文を書いた。発生のある時期の胚の状態を出発点と見れば、どの時期をとろうと、最後は親になるという過程を踏むからである。先ほどから述べているように、答はすでに与えられている。

でもふつうはそうは思わないらしい。それもその頃に私は理解した。実験的でなければ「意味がない」という研究者が多かったからである。でも最終的な状態、B 答があらかじめわかっている状態をあれこれいじってなにかわかるのだろうか、というのが、私の理屈だった。たしかにいろいろわかることはある。でもともかく、最終的には、発生過程を経て親ができなけりや、しようがないのである。親ができなけりや、むろんその子どもはできない。子どもができなけりや、その生物は滅びる。それなら発生過程とは、成体が出来なけりや意味がないのである。

発生学の答は、成体という形ですでに与えられている。それが私の結論だったが、そんなことをいう人はむろんない。じゃあ、なんでそんな変なことを考えたのだろうか。自然は答をすでに与えているというのは、² 林業に関する会議でも経験したことである。いまの日本の人工林は間伐の必要がある。それは多くの人が知っている。でも人工林は木材を採るという目的のために本来作られた。それなら、どういう材を採るのか、それが決まっていなければ、どう間伐するかも決まらないはずである。それが京都大学の竹内典之^{みちゆき}名譽教授の意見だった。そう聞けば、だれも当然として納得するであろう。

しかし森を育てるには時間がかかる。その間に、植えたときは材価がまったく違ってしまった。恐ろしく安くなくなってしまったのである。したがって間伐しても、間伐材は売れない。切った材の価格より、切る手間の^h ヒヨウのほうが高くなってしまったのである。それでも間伐をしておかないと、森が死んでしまう。なぜかというと、もともとスギやヒノキの人工林は、植え過ぎの状態に植えるからである。それを間伐という形でしだいに間引いていく。そのほうが年齢が詰まったよい材が得られる。それは日本の林業が、ⁱ デントウ的に採用してきた方法なのである。その間伐が手抜き状態だから、なんとかしなければならぬ。そこまではだれでもわかる。しかも補助金が出ているから、切ることは可能なのである。

そこで浮上した問題は、具体的に現場でどう間伐するのか、ということである。それを決めるためには、十年後、二十年後に、どういう材を切り出すかという、目標が定まっていなければならない。でもここまで材価が安いと、だれもそんなことは考えなくなる。補助金は出ているから、まあ適当に切っておけという、乱暴にいうなら、そういう間伐になってしまったのである。

その議論のなかで、どういう形の森が理想的かという話題が浮上した。その答は明白であろう。「自然はすでに解を与えている」からである。自然林の形をみればいい。スギやヒノキの自然の^j ジュンリンを、私は見たことがない。とくにスギの場合には、広葉樹と混交している状態が自然だと思う。奈良の春日山のスギは、そういう状態になっている。もつともあれは秀吉の頃に植えたという説があるらしい。いまでは巨木になって広葉樹の間に挟まり、みごとに育っている。

ともあれあれこれ考えるより、自然が出している答を見たらいい。森の場合でも、それが結論だと、私は理解した。

(養老子壺司「養老子壺司の大言論」 大切なことは言葉にならない)

問一 傍線部 a～j と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は 6

15。

- a キテイ 6
- ① キシヨウな鉱石を発見する。 ② 一定の結論がキノウされる。
- ③ 再建をキトする。 ④ キトクの知識を活用する。
- b セイシヨク 7
- ① 国のシヨクサンを推進する。 ② 記念のシヨクジュを行う。
- ③ 団体の規約にテイシヨクする。 ④ 専門家にシヨクタクする。
- c ジュンレツ 8
- ① 関係にキレツが入る。 ② 名将のレツデンを読む。
- ③ ユウレツの判断をし難い。 ④ 秋霜レツジツの気迫にあふれる。
- d ボウダイ 9
- ① 迅速な行動にダツボウする。 ② 現場はボウシヨとだけ伝えられた。
- ③ コウボウで制作に没頭する。 ④ 都市がボウチョウする。
- e ブジ 10
- ① 一定のブアイをとる。 ② ブアイソウに対応する。
- ③ 士気をコブする。 ④ 相手をブジヨクする態度をとる。
- f ドウニユウ 11
- ① 観客をユウドウする。 ② 機械をカドウさせる。
- ③ ドウリをわかまえる。 ④ 技術者をタイドウする。
- g ガクイ 12
- ① 業務をイカンする。 ② 勝者としてのイフウを示す。
- ③ イサイを承知する。 ④ ヒンイに欠ける行動をする。
- h ヒヨウ 13
- ① 組織がヒダイする。 ② 絶縁体でヒフクする。
- ③ 資源をロウヒする。 ④ 適切な配合のヒリツを調べる。
- i デントウ 14
- ① クントウを受ける。 ② チームをトウソツする。
- ③ 自宅をジョウトウする。 ④ 仲間でトトウを組む。
- j ジュンリン 15
- ① フジュンな動機を抱く。 ② ジュンタクな資金を使う。
- ③ 技術がスイジュンに達する。 ④ 条約をヒジュンする。

問二 空欄 A・B にあてはまる接続語として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答番号

は 16・17。

- A 16
- ① また ② あるいは ③ したがって ④ なせなら
- B 17
- ① つまり ② さらに ③ たとえば ④ そして

問三 二重傍線部Ⅰ「むやみ」・Ⅱ「際限」の意味として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。

解答番号は 18・19。

Ⅰ 18 ① 目の前のことだけに集中して解決しようとするさま

② 結果や是非を考えないでいちずに物事をするさま

③ 物事の状態が度を超えて甚だしいさま

④ 他にはみられないような珍しいさま

Ⅱ 19 ① 移り変わっていく状態の最後のところ

② 物事の成否を分ける際どいところ

③ 考え得る限りの最も数量の多いところ

④ 結論に到達することのできるところ

問四 傍線部Ⅰ「私のいいたいこと」とあるが、どういうことか。その内容として最も適切なものを次から選び、

番号で答えなさい。解答番号は 20。

① 受精卵があれば発生過程を経て成体ができるということが解としてすでに与えられており、その発生過程を調べる発生学においては、そのことに疑問を差し挟む余地はないということ。

② カエルのように木の葉よりも複雑かつ面倒な計算を要する成体のシミュレートは、計算機で行う以上に脳で行うことは困難であり、木の葉の場合にも増してそのような計算を行う必要はないということ。

③ 遺伝子の組み合わせによる生物の成体の発生過程は極めて複雑であり、その発生過程によって発生する成体をシミュレートする計算を行うことは実際には不可能であるということ。

④ 発生学においては、遺伝子の無数とも言える組み合わせによる生物の発生の過程に対する探究にはシミュレートは不要であり、実際に発生している成体によってすでに答が示されているということ。

問五 傍線部Ⅱ「林業に関する会議でも経験したこと」とあるが、筆者はなぜこのように考えるのか。その理由として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は 21。

① 本来の目的を失った人工林において間伐をする際に、それによって実現するべき理想的な森の形を考える場合には、すでにある自然林をみればその形がわかるということ。

② 間伐を目的に作られた人工林において、どのような材を採るのが決まらないままに適切な間伐を行うためには、補助金のような安易な解決策を放棄しなければならないということ。

③ 木を植え過ぎの状態に植える日本の伝統的な林業の方法においては、森の生存を確保するためには間伐を欠かすことはできないが、間伐の方法は必ずしも伝統に従う必要はないということ。

④ 植えたときは材価がまったく違ってしまった場合の間伐の実施のように、利益よりも費用が上回るようになった場合には、適切な行為は期待することができないということ。

問六

この文章の表現の特徴として、最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は22。

- ① 現実と筆者の考える理想との相違点を明らかにしながら、現実を理想に近づけるための方法を自然に理解できるように配慮されている。
- ② 主張を繰り返しながら具体例によって同じ内容を重ねて説明することによって、筆者の考えが読者により深く理解されるように配慮されている。
- ③ 異なる分野の事例を対比させることによって、それぞれの分野に対する筆者の考えがより鮮明に読者に伝わるように配慮されている。
- ④ 筆者の知見と経験に基づいて現状を分析し、そこに内在する問題点を事例に基づいて具体的に説明するよう配慮されている。

三 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。 解答番号は 23 ～ 38

音響というものは、私たちがこれを聴いた場合、私たちの中にある特定の感覚とか心情をよび起こすものですが、この心情には二つの種類があります。一つは、その音響それ自体がもつ直接的なものであり、いま一つは、その音に付随した連想に基づく印象です。このように私たちが一つの音を聴いた時、自分の中に生まれた印象が、直接的なものなのか、また連想によるものか、それとも両者の結合されたものであるのかということを見極めることはかなり困難ですが、このことは、音楽を鑑賞する態度の上で重要な因子となるものなのです。

今、一つの火薬の爆発音を例に考えましょう。火薬の轟音には誰しも不安な衝撃的な印象を受けるものですが、春の行事の知らせのためや、または夏の納涼会に打ち上げられる花火の音には、同じ爆発音でありながら実に平和な、なごやかな感呼び起こされましょう。この場合、不安な衝撃感の方が直接的な歪められないものの効果なのであって、花火なんぞに受ける平和感の方は、明らかに連想に基づくものなのです。このことは花火の音に驚く鳥とか、動物とか、花火の美しさや楽しさの連想をもち得ない嬰兒の反応を見れば明らかです。

この場合は意識も何もない単なる音響ですから、動物や嬰兒の反応を見るだけで、その本来の直接的印象がどのようなものであるかを知るのは極めて簡単ですが、心情の ^aカンキを目的として作られた楽音、すなわち寺院の鐘、教会のチャペルなどとか、人間の高度の意識によって楽音を組み合わせ作り上げた音楽作品の印象となると、問題はどのように簡単には参りません。ア 更に、音楽作品が音楽として響くためには、演奏という一つの関門を通過しなければなりません。ここでは取り上げません。この分類の問題が、困難であるからといって、避けてしまうわけにはいかないでしょう。もし、音楽の、 X 的な印象に目を向けることなく、常に Y による印象のみに頼っていくとすれば、 Y は Y を生み、更に、新たな Z を作り上げ、終には、音楽が真に示しているところのものからは遥かに遠いところに行くことになるのです。しかし、このように音楽の実体から逃れて、勝手な幻想をもつ態度が真の高級な音楽の鑑賞であるかのように考えられることが少なくないのです。

このことは、現在行われている音楽作品の解説を一見しても、明らかなことです。解説はいかにして多くの連想や幻想を起こさしめる材料を提供するかということに、主眼が置かれているかのようです。古い国定教科書の中にあつた、ただ一つの音楽に関する解説物語である「月光の曲」も、また明らかにこの種類に入るものでした。 イ ももちろん、相手が小学生ですから連想の材料も視覚に限られていたように記憶しています。たしか、月の光の中に ^bクマなども出てくるはずでした。

このような立場からいいますと、音楽は、自分の心の中に描いている諸々のイメージの単なる ^cバンソウとして取り扱われているに過ぎないのです。 ウ ですから、このような観点からしますと、自分の心に描いたイメージと、その音響とが何らかの点で ^dルイジしたと考へ得た場合、その音楽を理解し得たと思ひ込むのです。 A イメージと音楽が合致しない場合、または、イメージを創り上げ得ない場合は、その音楽を理解しないと思ひ込むのです。音楽の中には、もちろんこのような鑑賞の立場を目的としたものもあります。私たちは、これを標題音楽とか効用音楽とか呼んでおりますが、絵でいえばポスターとか小説の挿絵のようなものであって、その目的は連想の補助に

問一 傍線部 a～e と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は 23 ～ 27。

- a カンキ 23 ① トンカンで工事を行う。 ② 来客をカンタイする。
③ 優勝旗をヘンカンする。 ④ 法廷にショウカンする。
- b アクマ 24 ① 貿易でマサツが生じる。 ② 原石をケンマする。
③ 仕事のジャマをする。 ④ 神社でエマを購入する。
- c バンソウ 25 ① 試合のシュウバンまでもつれる。 ② 契約書にインバンを押す。
③ ショウバンにあずかる。 ④ カンバンで宣伝する。
- d ルイジ 26 ① ギジ科学を排除する。 ② ジミに富む食事を用意する。
③ もてなしにシヤジを述べる。 ④ 世間のジモクを集める。
- e ケイゾク 27 ① 本によってケイハツされる。 ② レンズのコウケイを合わせる。
③ 同じケイトウの言語を話す。 ④ 現地からチュウケイする。

問二 空欄 A・B にあてはまる接続語として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答番号は 28 ・ 29。

- A 28 ① したがって ② 更に ③ または ④ しかし
- B 29 ① または ② あるいは ③ もっとも ④ たとえば

問三 二重傍線部 I 「因子」・II 「消息」の意味として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。

解答番号は 30 ・ 31。

- I 30 ① ある行為の成否を決める主たる要素 ② ある物事の最も基本となる要素
③ ある結果をひき起こすものになる要素 ④ ある領域を理解するための重要な要素
- II 31 ① 特定のものが変化しただけ ② 状況を人に知らせる手がかり
③ 盛んだったものが衰える様子 ④ 物事のその時々々の状況

問四 空欄 X～Z にあてはまる語として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は 32 ～ 34。

- X 32 ① 感情 ② 視覚 ③ 直接 ④ 間接
- Y 33 ① 連想 ② 幻想 ③ 印象 ④ 心象
- Z 34 ① 心象 ② 連想 ③ 幻想 ④ 印象

問五 この文章からは、次の一文が抜けている。ア～エのどこに戻すのが適切か。番号で答えなさい。解答番号は 35。

ちようど、あらゆる種類の音楽が、今日の映画の音楽と同様な取扱いを受けているのです。

- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ

問六 傍線部1「理解し得ないと感じた場合、逆説のようではありませんが、はじめて真の理解に達し得る立場に立っていることになるのです」とあるが、その理由として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答

番号は 36

① 心象を形成するあらゆる事物が特定の音楽と合致しない場合にはその音楽を理解し得ないと感じるが、そこには新たな心象を形成する可能性が生まれ、そうした新たな心象をもってすればその音楽をかえって理解し得ることになるといふこと。

② 視覚的なものとして感じられるものが印象として心に受け入れられるのだとすれば、音楽を視覚的なものとして感じる鑑賞態度を身につければ、音楽が視覚的なものでないからこそかえって音楽の本来の鑑賞をすることができるということ。

③ 音楽を理解し得ないと考えるのは音楽が自分の幻想を否定するように感じるからであって、だからこそ自分の幻想に対する反省が生じ、かえって音楽の真に示しているところに自らが到達しようとすることができるということ。

④ ある音響と自分の心象とが合致したと考え得た場合にのみ、その音楽を理解し得たと考える音楽鑑賞の方法においては、そのような感覚を持ち得ないことにかえって音楽それ自体のもつ直接的な印象に目を向けた真の音楽鑑賞の可能性があるといふこと。

問七 傍線部2「特別に先鋭化、または奇形化された特殊な傾向の作品を除けば、現代人は現代の絵画に一番親近感を感じるのです」とあるが、なぜか。その理由についての説明として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は37。

① 現代の作品からは直接的な印象を受け取ることができるとするために、そのような直接的な印象を受け取るような鑑賞態度をもっていれば、その作品を一般的には容易に理解することができるから。

② 古い絵画については時代的な移り変わりを意識せざるを得ず、その反動として、現代の絵画に対する現代人の共感が呼び起こされるから。

③ 芸術は常に進化を続けており、過去の作品よりも現代の新しい作品の方を現代の人が高く評価するのは当然のことだから。

④ 現代の作品においては一般の人々の感性をそのままに取り入れている場合が多く、たいていは一般的な芸術的感性をもっていれば理解しやすい作品だから。

問八 本文に書かれている内容として適切でないものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は38。

① 芸術作品の作者は、いつの時代も正しい位置で立派な仕事をしていたと言えるが、特に音楽に関しては、後世の鑑賞方法の誤りが古い音楽への幻想と現代音楽への共感の欠如を生じさせている。

② 音響から得られる直接的な印象と、その音響から得られる連想による印象とは、前者の方が後者よりも幻想的な真の芸術を鑑賞することへと繋がる可能性が高い。

③ 音楽から得られる連想と、そこから発展する幻想に音楽鑑賞の方法を見出すのであれば、真の音楽を鑑賞することからは遠ざかってしまうことになる。

④ 現代における音楽鑑賞の方法によっては、音楽から得られる直接的な効果よりも音楽に付随するロマンと解説によって得られるイメージの方が重視されている。